

堀内勝先生——業績——

〔分類〕

①アラブ近・現代文学；②アラブ古典文学；③アラブ歌謡文化；④口頭伝承；⑤言語文化；⑥思想・宗教関係；⑦自然観・鉱物；⑧動物観；⑨植物観；⑩アラブ馬；⑪鳥・タカ・狩猟；⑫衣食住文化；⑬技能・芸術；⑭風俗・習慣；⑮天文・時空・歳時；⑯雑；⑰遊牧民論；⑱ラクダ文化

1965年

- ・「アラブ近代文学紹介 1 Sslaam.al-Bustaanii について (1)」『イスラーム紙(『東方の道』 解題)』、第189号、1965年7月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 2 S. al-Bustaanii について (2)」『イスラーム紙』、第191号、1965年8月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 3 Labiibah al-Haashim について」『イスラーム紙』、第192号、1965年9月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 4 S. al-Bustaanii について」『イスラーム紙』、第193号、1965年10月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 5 Nashiib al=Mash”araanii について (1)」『イスラーム紙』、第194号、1965年11月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 6 Nashiib al=Mash”araanii について (2)」『イスラーム紙』、第195号、1965年12月25日、3頁、〔分類①〕

1966年

- ・「アラブ近代文学紹介 7 Nashiib al=Mash”araanii について (3)」『イスラーム紙』、第196号、1966年1月25日、3頁、〔分類①〕
- ・「アラブ近代文学紹介 8 Jurjii Zaidaan について (1)」『イスラーム紙』、第197号、1966年2月25日、3頁、〔分類①〕

1969年

- ・「アラビア文学に見られるドラマについて」『アジア文化』、第6巻1号、1969年8月、88～97頁、〔分類②〕

1970年

- ・「タウフィーク・アルハキームの作品について」『オリエント』、第11巻1・2号、1970年1月、69～88頁、〔分類①〕

1971年

- ・「アラビアの部族 理想像 部族闘争」(映画『アラビアのローレンス』のパンフレット コロンビア映画会社)、1971年2月、31～32頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「Qira’ah(コーラン読誦)に関するノート」『アジア・アフリカ言語文化研究』、第4巻、1971年11月、189～231頁、〔分類⑤⑥〕

1972年

- ・「Huda’(キャラバンソング)について」『オリエント』第14巻1号、1972年6月43～76頁〔分類③⑱〕
- ・「Qira’ah(コーラン読誦)の文末機能に関するノート」『アジア・アフリカ言語文化研究』第5巻、1972年8月、231～280、〔分類⑤⑥〕

1973年

- ・「ジャーヒリーヤ文化の一考察」『イスラム世界』第9巻、1973年7月、37～93頁、〔分類②③〕

1974年

- ・「T・アル・ハキーム作「狂いの川」」『現代アラブ文学選』、創樹社、1974年6月、〔分類①③〕

1975年

- ・「遊牧民の思考法——ラクダの名称と分類」『月刊シルクロード』、第5巻4号、1975年5月、32～38頁、〔分類⑱；⑲〕
- ・(アル・アッカード著)「アラブのヨーロッパ文明に与えた影響」『民族と政治』、第241号～第264号、1975年7月～1977年10月(雑誌連載、翻訳)、〔分類②⑤⑥⑦⑬⑮⑰〕
- ・「作家アッカードについて」『民族と政治』、第241号、1975年7月、38頁、〔分類①⑥〕
- ・「A.M.アル・アッカードの宗教関係の作品について」『民族と政治』、第242号、1975年8月、85～87頁、〔分類①⑥〕
- ・「アル・アッカードの文学論」『民族と政治』、第243号、1975年9月、75～78頁、〔分類①〕
- ・「アラブ作家とその社会的対応(1)」『民族と政治』、第244号、1975年10月、86～90頁、〔分類①〕
- ・「アラブ作家とその社会的対応(2)」『民族と政治』、第245号、1975年11月、104～110頁、〔分類①〕
- ・「アラブ作家の思惟」『民族と政治』、第246号、1975年12月、86～92頁、〔分類①〕
- ・*A Study of Koran Readers in Medieval Islam*, (カイロ・アメリカ大学提出 MA 論文)、1975年12月、〔分類⑥〕
- ・(アル・ハキーム著)『田舎検事の手記』、アジア経済研究所、1975年12月、(訳・解説)、〔分類①⑥⑭〕
- ・「アル・ハキームの近著「良識の復帰」をめぐる論争」『中東総合研究』、第2号、1975年12月、61～69頁、〔分類①〕

1976年

- ・「アラブの現代思想」『民族と政治』、第247号、1976年2・3月、86～92頁、〔分類①〕
- ・「アラブ作家のリアリズム」『民族と政治』、第248号、1976年4月、92～96頁、〔分類①〕
- ・「ハキーム論 我若ければ」『民族と政治』、第249号、1976年5月、73～76頁、〔分類①〕
- ・「ハキーム論 蟻の家」『民族と政治』、第250号、1976年6月、88～90頁、〔分類①〕
- ・「アラブの学者たち 初期クッター」『民族と政治』、第251号、1976年7月、89～91頁、〔分類④⑥〕
- ・「アラブ知識人の系譜」『民族と政治』、第252号、1976年8月、92～95頁、〔分類②④⑥〕
- ・「ハキーム論 聖なる絆」『民族と政治』、第253号、1976年9・10月、81～86頁、〔分類①〕
- ・「アル・アッカードの小説「サーラ」について」『民族と政治』、第254号、1976年11月、87～90頁、〔分類①〕
- ・「現今のイラクの作家活動」『民族と政治』、第255号、1976年12月、80～82頁、〔分類①〕
- ・「海外の現代作家 ユースフ・アル・シバーイー」『毎日新聞』、1976年3月29日、〔分類①〕
- ・『コンサイス人名辞典—外国編』、板垣雄三 他監修、三省堂、1976年3月、(アラブ・イスラム世界の著名な人物をアアシャーを始めとして200名余りをジャンル別を選び、執筆)、〔分類⑯〕
- ・「『コーラン』の口誦的性格について」『アラビア研究論叢』、日本サウジアラビアクウェイト協会、1976年4月、〔分類⑤⑥〕
- ・「アラブの歌謡」『アラブの文化と旅』、創刊号、1976年6月、6頁、〔分類③〕
- ・「現代エジプトの文学と政治」『中東総合研究』、第5号、1976年9月、65～73頁、〔分類①〕
- ・(アル・ハキーム著)『意識の回復』、アジア経済研究所、1976年12月、(訳・解説)、〔分類①〕

1977年

- ・「アラブの説話 サイフ・イブン・ズィー・ヤザン物語」『民族と政治』、第256号、1977年1月、79～81頁、〔分類②④〕
- ・「ハキームの均衡論の展開」『民族と政治』第257号、1977年2月、90～98頁、〔分類①〕
- ・「アラブ現代作家の動向」『民族と政治』、第258号、1977年3月、89～92頁、〔分類①〕
- ・「十九世紀イラクの詩人たち」『民族と政治』、第259号、1977年4月、73～75頁、〔分類①〕
- ・「イラクの文芸活動」『民族と政治』、第260号、1977年5月、77～84頁、〔分類①〕
- ・「アラブの口誦世界」『民族と政治』、第261号、1977年6月、80～85頁、〔分類②③④⑤〕
- ・「アラブの現代思潮 イラクの詩人たち」『民族と政治』、第262号、1977年7・8月、86～100頁、〔分類①〕
- ・「ハキーム論 切符売り場の窓口の前で」『民族と政治』、第263号、1977年9月、91～95頁、〔分類①〕
- ・「エジプト現代詩人マージニー論」『民族と政治』、第264号、1977年10月、89～92頁、〔分類①〕
- ・「バスマラとコーラン読誦学」『日本サウディアラビア協会報』、第69号、1977年3月、2～7頁、〔分類⑤⑥〕
- ・「歌 大地が呼び掛ける」『若い力』（青年海外協力隊事務局）、第14巻151号、1977年7月、2頁、（訳詩）、〔分類③⑦〕
- ・「中東の女性像」『東方の輝き』、評論社、1977年6月、17～46頁、（座談）、〔分類⑥⑬⑭〕
- ・「砂漠の愛と詩の世界——マジヌーン・ライラ物語」『東方の輝き』評論社、1977年6月、201～40頁、〔分類②⑰〕
- ・「都市の宴と歌の世界——歌謡の女王ジャミーラ」『東方の輝き』、評論社、1977年6月、241～74頁、〔分類②③〕
- ・（アル・ハキーム著）「田舎検事の手記」『アジア経済研究所 所内資料』、1977年12月、〔分類①〕

1978年

- ・（アル・ハキーム著）『オリエントからの小鳥』、河出書房新社、1978年6月、（訳・解説）、〔分類①〕
- ・「アル・ハリリー作『マカーマート』訳註：解説」『月刊シルクロード』、第5巻6号～第6巻9号、1978年7月～1980年12月まで断続的に50篇中16篇を註、解説を付して翻訳
- ・「イラクの詩人アル・ジャーヒーリーについて」『日本アジアアフリカ作家会議会報』、1978年8月、26～45頁、〔分類①〕
- ・「アラブ詩の特色—ジャーヒーリーヤ時代の叙景歌を中心に」『月刊シルクロード』、第4巻7号、1978年8月、41～45頁〔分類②〕
- ・「サウディア女流作家サミーラの“涙のしづく”について」『サウジアラビア協会報』、第79号、1978年11月、1～4頁、〔分類①⑥〕
- ・「砂漠と夜旅」『中東ハンドブック』、講談社、1978年11月、388～390頁、〔分類⑦⑭⑮〕

1979年

- ・「歌手ウンム・クルスームと詩人ラーミー」『サウジアラビア協会報』、第80号、1979年1月、1～3頁、〔分類①③〕
- ・「中近東の文学」、「名作図書館」『世界の旅路 第8巻中近東／アフリカ』、千趣会、1979年1月、〔分類①〕
- ・「アラブの祖とイスラエルの祖に関する小考」『日本クウェイト協会報』、80号、1979年2月、2～5頁、〔分類⑥〕

- ・「アラブの民話」『世界の民話 第9巻インド・中近東編』、共著 堀内勝・前田式子・岡田恵美子、光の家協会、1979年3月、(アラブ諸国の民話の中から5話を選び訳出。巻末にアラブ民族の概説、及び訳出した民話に盛られる習俗の解説「お伽と語り部の活きずく砂漠の世界」収録)、〔分類④⑭⑯〕
- ・「アラブの大道絵」『月刊シルクロード』、第4巻4号、1979年5月、1~8、75~78頁〔分類⑭⑯〕
- ・「アラブ遊牧民の娯楽－「賭矢」再現－」『月刊シルクロード』第5巻4号、1979年5月、24~27頁、〔分類⑫⑭⑰〕
- ・「遊牧民の思考法－ラクダの名称とその分類－」『月刊シルクロード』、第5巻4号、1979年5月、32~38頁、〔分類⑤⑰〕
- ・「シャーバーン月について」『日本クウェイト協会報』、82号、1979年6月、8~9頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「海外文学の現況・アラブ文学」『文芸年鑑』、日本文芸家協会編、磯田光一・堀内勝 他29名、新潮社、1979年6月、(「海外文学の現況」と翻訳・研究の柱の中「アラブ文学」の章(167~170頁)担当)、〔分類①〕
- ・「アラブの狩りと犬たち」『平凡社 月刊百科』、第205、1979年10月、34~40頁、〔分類⑧⑪⑰〕
- ・「現存する二種の『コーラン』の相違について」『オリエント学論集』、三笠宮崇仁・堀内勝 他39名、日本オリエント学会創立25周年記念、1979年11月、〔分類⑤⑥〕
- ・『砂漠の文化』、教育社、〔分類⑦⑧⑰⑱〕
- ・「アラビア人と酒」『小原流插花』、第29巻11号、1979年11月、16頁、〔分類⑫〕
- ・「本と人「砂漠の文化」 アラブ世界の原質 遊牧民の心を探る インタビュー」『読売新聞』(朝刊)、1979年12月17日、〔分類⑯〕

1980年

- ・「コーランと民衆イスラム」『中東の社会変化とイスラムに関する総合的研究(3)』、国立民族学博物館、1980年3月、(シンポジウム報告書)、〔分類④⑥〕
- ・「アラブと塩」『サウジアラビア協会報』、第88号、1980年5月、8~12頁〔分類⑦⑫〕
- ・「シリア砂漠の茸狩り」『読売新聞』(夕刊文化欄)、1980年5月31日、〔分類⑦⑨⑫⑰〕
- ・「賤民ベドウィン「スルッパ」について」『日本サウディアラビア協会報』、第89号、1980年7月、8~14頁、〔分類⑭⑰〕
- ・『詳解アラビア語－日本語辞典』、田村秀治・堀内勝 他14名、中東調査会、1980年7月、(第16回日本翻訳出版文化賞受賞)、〔分類⑤〕
- ・「コーラン読みとコーラン読誦学」『月刊言語』、第9巻8号、1980年8月、36~37頁、〔分類④⑥〕
- ・「遊牧民のことば、定住民のことば－住居に関する語義の変容－」『月刊言語』、第9巻8号、1980年8月、22~27頁、〔分類④⑤⑰〕
- ・「スハイル星と遊牧民」『歴史と地理』、300号、山川出版、1980年8月、20~22頁、〔分類⑦⑮⑰〕
- ・「砂漠・遊牧民主題の作品 アラブ諸国」、共同通信系・信濃毎日他、1980年8月10日、(海外文学の現況)、〔分類①⑰〕
- ・「バサースの戦い 40年に亘る部族闘争(上)」『サウディアラビア協会報』、第90号、1980年9月、4~10頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「バサースの戦い 40年に亘る部族闘争(下)」『サウディアラビア協会報』、第91号、1980年11月、9~14頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「遊牧民の宗教観」『中東ジャーナル』、第2号、1980年10月、46~48頁、〔分類⑥⑭⑰〕

- ・「言語芸術の視覚的側面の追及(1)」『季刊アラビア語』、創刊号、1980年10月、39～54頁、〔分類②⑤〕
- ・「シリア・ダマスカスの風物誌」『青淵』、380号、1980年11月、22～24頁、〔分類⑦⑭⑯〕
- ・「毛髪のアラブ的特質(1)」『平凡社 月刊百科』、第219号、1980年12月、20～24頁、〔分類⑬〕

1981年

- ・「毛髪のアラブ的特質(2)」『平凡社 月刊百科』、第220号、1981年1月、38～41頁、〔分類⑬〕
- ・「〔夜〕、そのアラブ的表象(1)」『アッサラーム』、第21号、1981年3月、72～83頁、〔分類⑦⑮〕
- ・「〔夜〕、そのアラブ的表象(2)」『アッサラーム』、第22号、1981年6月、70～82頁、〔分類⑦⑮〕
- ・「〔夜〕、そのアラブ的表象(3)」『アッサラーム』、第23号、1981年9月、82～92頁、〔分類⑦⑮〕
- ・「〔夜〕、そのアラブ的表象(4)」『アッサラーム』、第24号、1981年12月、82～92頁、〔分類⑦⑮〕
- ・「〔ラクダ鞍〕についての考察(1)」『日本クウェイト協会報』、第93号、1981年4月、5～8頁、〔分類⑧⑫⑬⑰⑱〕
- ・「〔ラクダ鞍〕についての考察(2)」『日本クウェイト協会報』、第94号、1981年6月、11～17頁、〔分類⑧⑫⑬⑰⑱〕
- ・「1 暑熱地獄 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：信濃毎日新聞他』、1981年5月19日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「2 強い精神力 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：岐阜日日新聞他』、1981年5月20日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「3 聖なる夜 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：中国新聞他』、1981年5月22日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「4 ラクダ 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：神戸新聞他』、1981年5月26日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「5 戦いの毎日 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：福井新聞他』、1981年5月27日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「6 話芸の伝統 「砂漠の文化・六講」」『共同通信系：徳島新聞他』、1981年5月29日、〔分類④⑦⑭⑰〕
- ・「ラビードのムアッラカ詩より自由訳」『遊牧民旅情』、堀内勝・斎木幸子、文化出版局、1981年6月（シルクロードの遊牧民を追って撮り続ける写真家斎木幸子氏のアフガニスタンからイラクまでの写真集との合作。）、〔分類⑳〕
- ・「遊牧民の生活形態」『遊牧民旅情』、堀内勝・斎木幸子、文化出版局、1981年6月、129～138頁、〔分類⑫⑭⑰〕
- ・「生活の中でアラブの様々な芸術的な資質はいかに発揮されたか」『アラブとは何か』、板垣雄三・堀内勝 他11名、中近東文化センター、1981年8月、22～33頁、(シンポジウム報告書)、〔分類⑫⑭⑰〕
- ・「砂漠のカミツレ——その花と茶の思い出」『小原流插花』、第31巻8号、1981年8月、17～18頁〔分類⑨⑫⑰〕
- ・「言語芸術の視覚的側面の追及(2)」『季刊アラビア語』、第2号、1981年10月、44～60頁、〔分類②⑤〕
- ・「アラブ遊牧民の食の思想」『朝日百科 世界の食べ物 西アジア2』、第44号、1981年10月、85～87頁、〔分類⑫⑭〕
- ・「アラブ伝統のナツメヤシ文化」『朝日百科 世界の食べ物 西アジア2』、第44号、1981年10月、87～90頁、〔分類⑫⑭〕
- ・「砂漠の狩猟とキノコ狩り」『朝日百科 世界の食べ物 西アジア2』、第44号、1981年10月、90～91頁、〔分類⑫⑭〕

- ・「アラブの料理 庶民は豆料理 貴族は肉料理／パンや菓子は自家製の味」『朝日百科 世界の食べ物 西アジア2』、第44号、1981年10月、92～97頁、〔分類⑫⑭〕

1982年

- ・「サムード族の「神聖ラクダ」」『日本サウディアラビア協会報』、第99号、1982年3月、3～9頁、〔分類⑥⑧⑰⑱〕
- ・「1 伝統的発想 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月8日、(1/15回)、〔分類②⑤⑰〕
- ・「2 自由奔放な詩人カイス 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月11日、(2/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「3 預言者の頌詩詩人ハッサーン 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月13日、(3/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「4 女流詩人ハンサー 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月15日、(4/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「5 語り部アビード 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月18日、(5/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「6 カリフの桂冠詩人アフタル 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月20日、(6/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「7 ジャリールの風刺詩 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月22日、(7/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「8 バッシャルの思想詩 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月25日、(8/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「9 アブー・ヌワースの酒ほがい詩 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月27日、(9/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「10 アブー・アル・アターヒヤの宗教詩 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年5月29日、(10/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「11 詩人でカリフのムウタツズ 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年6月1日、(11/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「12 頌詩詩人ムタナッビー 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年6月3日、(12/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「13 愛と文武の詩人イブン・ザイドゥーン 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年6月5日、(13/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「14 神秘主義詩人イブン・アラビー 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年6月8日、(14/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「15 ブースィーリーのブルダ詩 砂漠の文人たち——アラブ社会の基層文化を探る」『公明新聞』、1982年6月10日、(15/15回)、〔分類②⑰〕
- ・「荒野のヒナゲシ」『読売新聞(夕刊)』、1982年5月11日、〔分類⑨⑰〕
- ・「砂漠の微笑——イエメンのワジで」『毎日新聞(夕刊)』、1982年5月22日、〔分類⑦⑨⑭⑰〕
- ・「アラブの源流としてのイエメン」『シルクロード通信』、第1巻2号、1982年6月、6頁、〔分類⑦⑭〕
- ・「天馬ブラク(アラブの大道絵)」『シルクロード通信』、第1巻2号、1982年6月、1頁(グラビア)、〔分類⑧⑬〕

- ・「歳時記 6がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻2号、1982年6月、4頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 7がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻3号、1982年7月、4頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 8がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻4号、1982年8月、2頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 9がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻5号、1982年9月、2頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 10がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻6号、1982年10月、2頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 11がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻7号、1982年11月、4頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 12がつのアラブ」『シルクロード通信』、第1巻8号、1982年12月、4頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「サムード族の「神聖ラクダ）」『日本サウディアラビア協会報』、No. 99、1982年7月、4～9頁、〔分類⑰⑱〕
- ・「人語猷声 (1)」『日本クウェイト協会報』、第101号、1982年8月、5～8頁、〔分類④⑧〕
- ・「人語猷声 (2)」『日本クウェイト協会報』、第102号、1982年10月、12～14、〔分類④⑧〕
- ・「人語猷声 (3)」『日本クウェイト協会報』、第103号、1982年12月、16～18、〔分類④⑧〕
- ・「北イエメンの旅——タクシーの溜まり場でのこと」『小原流挿花』、402号、1982年9月、36～38頁、〔分類⑦⑭⑯〕
- ・「遊牧民の聖樹信仰——アラビア砂漠のスイドラ(キリストいばら)の樹」『季刊 日本』、第3号、1982年9月、63～75頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「アラブと酒の文化誌」『現代思想』、第10巻13号、1982年10月、164～183頁、〔分類⑫⑬⑭〕
- ・「砂、砂丘、砂漠—アラブの砂漠と風土観—」『中東ジャーナル』、第8号、1982年10月、22～24頁、分類⑦⑰〕
- ・「アラブの瓜紅・ヘンナ」『望星』、13巻12号、1982年12月、12～13頁、〔分類⑨⑬〕

1983年

- ・「歳時記 1・2がつのアラブ」『シルクロード通信』、第2巻1号、1983年1月、6頁、(補「お正月」の意味、2頁)、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 3がつのアラブ」『シルクロード通信』、第2巻2号、1983年3月、6頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 4がつのアラブ」『シルクロード通信』、第2巻3号、1983年4月、2頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「歳時記 5がつのアラブ」『シルクロード通信』、第2巻4号、1983年5月、2頁、〔分類⑭⑮〕
- ・「ラクダの死について」『日本クウェイト協会』、No. 104、1983年2月、5～6頁、〔分類⑫⑱〕
- ・「アラブの根・ユダヤの根——パレスチナ・アラブの俗信にみる共通性と特殊性」『中東ジャーナル』、第9号、1983年2月、18～21頁、〔分類⑥⑫⑭〕
- ・「砂漠の中の文字——アラビア文字が息づいている世界」『写研』、56号、1983年3月、22～25頁、〔分類⑤⑮〕
- ・「ジン」「呪い」「護符」「邪視」「バラカ」「インシャーアッラー」「数珠」「もてなし」「男らしさ」「ラクダ」「ナツメヤシ」「賭け」「マカーマート」「ライラとマジヌーン」他『イスラム事典』、1983年4月、〔分類⑯〕
- ・「榛の木の花とタマリスクの花」『人と日本人』、第16巻6・7号、1983年6・7月、11～12頁、〔分類⑥⑦⑨⑭〕
- ・「ヌウマーン王とラクダ」『日本クウェイト協会報』、第107号、1983年8月、11～13頁、〔分類②⑧⑱〕
- ・「アラブの夢判断・断章」『サウジアラビア協会報』、第108号、1983年9月、8～9頁、〔分類⑧⑬⑭〕
- ・「アザーンによせて(北イエメン)」『アッサラーム』、第27号、1983年12月、114～115頁、〔分類③⑬〕

1984年

- ・「齧るネズミと貯めこむネズミ」『季刊 民族学』、27号、1984年1月、71～72頁、〔分類⑧⑭〕(再録『サンケイ新聞』「世界の人に会いたい」1985年4月19日)
- ・「アラブ民族の「土」の観念—言語文化による概念構造化」『国際研究』、第1号、1984年3月、中部大学国際地域研究所、27～54頁、〔分類⑤⑭⑰〕
- ・「アラブ世界のなぞなぞ」『世界なぞなぞ大事典』、大修館書店、1984年6月、〔分類④⑤⑬〕
- ・「アラブ・イスラム社会の子供文化」『世界の子供たち—比較子供学』、チャイルド社、1984年11月、〔分類⑫⑭〕

1985年

- ・「世界の詩・アラブ(シリア) マアッリー作 世を顧みすれば」『月刊言語』、14巻1号、1985年1月、14頁、〔分類②〕
- ・『平凡社大百科事典』、加藤周一・堀内勝 他、平凡社、1985年6月、(アラブ・イスラム圏の文化に関する多くの項目を担当)、〔分類⑯〕
- ・「犬を通して見たアラブ文化—優美な砂漠の勇者サルキー」『朝日百科 世界の地理 アラビア半島諸国』、第10号、1985年8月、110～112頁、〔分類⑧⑪⑰〕
- ・「イスラムの獅子」「回転する教主文字」「コーランの聖紋—クーフィック・パターン」『文字の宇宙』、杉浦康平編、写研、1985年11月、86～91頁、〔分類⑤⑬〕
- ・「アラブのリズム感—遊牧生活からの発想」、『口頭伝承の比較研究 2』、川田順造 編、弘文堂、1985年12月、26～58頁、〔分類③⑤〕

1986年

- ・『ラクダの文化誌』、リプロポート、1986年3月、〔分類⑧⑱〕
- ・「世界のことわざ アラビア語」『月刊言語』、14巻1号、1986年4月、70～71頁、〔分類④⑤⑬〕
- ・「『ラクダの文化誌』詩のリズムまで決めた巨大な家畜 インタビュー」『週刊ポスト』。第18巻26号、1986年6月27日、83～85頁、〔分類⑯〕
- ・「価値観の異化」『生活文化フォーラム・分科会セッション1』、名古屋市報告書、1986年9月10日、〔分類⑬⑰〕
- ・「ラクダの走法・歩態について(1)」『日本サウディアラビア協会報』、127号、1986年11月、3～6頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「アラブの家畜観—ラクダと馬から見たアラブ」『時事通信・北国新聞他』、1986年12月2日、〔分類⑧⑭⑰⑱〕
- ・「オマーンの文化誌」『出版ニュース』、1411号、1986年12月、〔分類⑭〕

1987年

- ・「ラクダの走法・歩態について(2)」『日本サウディアラビア協会報』、128号、1987年1月、3～7頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「不条理な！」『中央公論』、1215号、1987年1月、48～50頁、〔分類⑭⑮⑯〕
- ・「棗椰子がクルミに！ 日本語にならない言葉アラビア語」『翻訳の世界』、1月号、106～107頁、〔分類⑤⑨〕
- ・「黒帯とラクダで砂漠を歩けば 日曜喫茶室」、NHK FM 放送、1987年2月8日 12:15～14:00、〔分類⑯〕
- ・「ラクダの胼胝について」『日本サウディアラビア協会報』、129号、1987年3月、1～6頁、〔分類⑧⑱〕

- ・「学問新時代 アラブ家畜文化学」、NHK FM 放送、1987年5月7日 21:00～21:30、〔分類⑦⑧⑱〕
- ・「乳香の故郷 オマーン訪問」『朝日新聞』（夕刊）、1987年5月19日、〔分類⑦⑨⑱〕
- ・「オマーンのラクダ文化」『国際協力』、第386号、1987年6月、33～34頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「もう一つのアラブ、夢の世界・夢の学問」『聖教新聞』、1987年6月4日、〔分類⑬〕
- ・「オールドシティーの市壁について」『朝日サロン』、244号、1987年7月、4～5頁、〔分類⑦⑱〕
- ・「砂漠をわたる香煙 乳香」『フローラ』、第178号、1987年7月、76～81頁、〔分類⑦⑨⑱⑲〕
- ・「ナーカ（雌ラクダ）の表象（1）」『中東協力センターニュース』、第12巻第5号、1987年8月、39～41頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「ナーカ（雌ラクダ）の表象（2）」『中東協力センターニュース』、第12巻第6号、1987年9月、35～38頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「死後の世界 イスラムの天国観・地獄観 妖精にかしずかれる天国、責め苦の連続する地獄」『季刊民族学』、42号、1987年10月、〔分類⑥⑱〕
- ・「ラクダの行列」『IS』、第34号、1987年12月、37～40頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「私のアラブ・イスラム学昨年」『Tembea』、創刊号、（中部大・文化人類学談話会）、1987年12月、9頁、〔分類⑭⑱〕

1988年

- ・「公害化の進行——廃棄物を例として」『中東研究』、685号、1988年1月、55頁〔分類⑭⑱〕
- ・「ラクダ追い」のこと（上）『日本サウディアラビア協会報』、135号、1988年3月、5～7頁、〔分類⑰⑱〕
- ・「ラクダ追い」のこと（中）『日本サウディアラビア協会報』、136号、1988年5月、5～7頁、〔分類⑰⑱〕
- ・「ラクダ追い」のこと（下）『日本サウディアラビア協会報』、137号、1988年7月、1～3頁、〔分類⑰⑱〕
- ・「ラクダの“バン”と“肉”」『週刊朝日百科、世界の歴史19』、685号、1988年4月、PD-111頁、〔分類⑱〕
- ・「いたわり競わせるラクダ——アラブ首長国で見たレース」『朝日新聞』（夕刊）、1988年6月23日、〔分類⑱〕
- ・「バザールが生まれた国シリア」『世界史100問100答 話題源地理』、山川出版、1988年6月、70～71頁、〔分類⑭⑱〕
- ・「海水を淡水に クウエイト」『世界史100問100答 話題源地理』、山川出版、1988年6月、74頁、〔分類⑫⑭⑱〕
- ・「湾岸諸国に存続する趣味のラクダ」『Global Eye』、1988年8月、22～23頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブ馬の「足白」についての考察（上）」『日本サウディアラビア協会報』、138号、1988年9月、6～8頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブ馬の「足白」についての考察（中）」『日本サウディアラビア協会報』、139号、1988年11月、1～4頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブ世界の動物相と音楽要素」『日本の音楽・アジアの音楽（2）』、岩波書店、1988年10月、248～267頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「アラブ・イスラム世界のヒゲ」『化粧文化』、19号、ポーラ文化研究所、1988年11月、37～47頁、〔分類⑬〕
- ・「アラブ首長国連邦のラクダレース（1）」『NIC News』、第57号、1988年12月、1頁、〔分類⑧⑱〕

1989年

- ・「アラブ首長国連邦のラクダレース(2)」『NIC News』、第58号、1989年1月、2頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「アラブ馬の「足白」についての考察(三)」『日本サウディアラビア協会報』、140号、1989年1月、4~6頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブ馬の「足白」についての考察(四)」『日本サウディアラビア協会報』、141号、1989年3月、1~3頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブの詩吟大会に参加して」『えりあん通信』、第1号、1989年4月、12~13頁、〔分類①④〕
- ・「えりあん通信からのインタビュー」『えりあん通信』、第1号、1989年4月、14~15頁、〔分類⑯〕
- ・「アンタラとアラブ詩人たち」『週刊朝日百科 世界の歴史28』、1989年6月、PC-186~189頁、〔分類②〕
- ・「乾酪」「隊商」「遊牧民」「ラクダ」『旧約・新約聖書大事典』、教文館、1989年6月〔分類⑯〕
- ・「アラブ馬の<尾>についての考察(上)」『日本サウディアラビア協会報』、143号、1989年7月、4~7頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブ馬の<尾>についての考察(中)」『日本サウディアラビア協会報』、144号、1989年9月、5~7頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「アラブ馬の<尾>についての考察(下)」『日本サウディアラビア協会報』、145号、1989年11月、4~6頁、〔分類⑧⑩〕
- ・「Ageyl 遊牧民と定住民とをつなぐ集団」『えりあん通信』、第2号、1989年7月、16~17頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「中東の「結婚と処女性」について」『えりあん通信』、第3号、1989年7月、28~29頁、〔分類⑭〕
- ・「変わりゆく遊牧社会 近代化の中で加速する変貌」『聖教新聞』、1989年8月12日、〔分類⑦⑰⑱〕
- ・「ナツメヤシ」『世界有用植物事典』、平凡社、1989年8月、799~800頁〔分類⑨⑭〕
- ・「アラブ世界の<齒>の美学」『化粧文化』、20号、ポーラ文化研究所、1989年8月、45~56頁、〔分類⑬〕
- ・「旅は連れ立ちラクダに乗って」『ユリイカ』、第19巻第9号、1989年8月、206~217頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「アラブ・イスラーム世界の体臭観」『化粧文化』、21号、ポーラ文化研究所、1989年11月、52~63頁、〔分類⑬〕
- ・「パレスチナ・アラブの結婚習俗——映画『ガレリアの婚礼』を観て」『図書』、485号、1989年11月、22~27頁、〔分類⑭〕(再録『宗教情報』、第39号、1990年1月、116頁)
- ・「ナツメ椰子とアラブ文化」『えりあん通信』、第4号、1989年12月、31~31頁、〔分類⑨〕

1990年

- ・「額の白星考——アラブ馬の第三の白徴(1)」『日本サウディアラビア協会報』、146号、1990年1月、4~8頁、〔分類⑩〕
- ・「額の白星考——アラブ馬の第三の白徴(2)」『日本サウディアラビア協会報』、148号、1990年5月、4~7頁、〔分類⑩〕
- ・「額の白星考——アラブ馬の第三の白徴(3)」『日本サウディアラビア協会報』、150号、1990年7月、3~7頁、〔分類⑩〕
- ・「世紀末の一悲しみ 芸術の複製乱造化現象」『中東研究』、第339号、1990年2月、50頁〔分類③⑬〕
- ・「アラブの名付け」『月刊言語』、第19巻3号、1990年3月、46~48頁、〔分類⑤⑭〕
- ・「シリア文明展・ラクダ二題」『えりあん通信』、第5号、1990年3月、35~37頁、〔分類⑬〕
- ・「軽便を旨とする遊牧民の必需品、カッドゥーム」『季刊民族学』、No. 52春号、56頁、〔分類⑫⑭〕

- ・「最前線の町ファオを謳う」『えりあん通信』、第6号、1990年5月、25～26、〔分類①③〕
- ・「ナツメヤシが支えた人々の暮らし」『世界の歴史100題100答』、河出書房新社、1990年8月、111～114頁、〔分類⑰〕
- ・「動物の走りとりリズム性」『民族とりズム』、櫻井哲男 編、東京書籍、1990年10月、83～112頁、〔分類③⑩⑱〕
- ・「アーシューラーの行進」『月刊Asahi』、vol. 2 No. 9、1990年9月、7頁、〔分類⑥⑭〕
- ・「イスラームの儀礼・アザーンについて」『儀礼と音楽』、水野信男 編、東京書籍、1990年10月、15～56頁、〔分類③〕

1991年

- ・「邸を構える者、町を亡ぼす」『国際協力』、第429号、1991年1月、30～31頁、〔分類⑥⑫⑰〕
- ・「湾岸戦争 私の意見」『朝日新聞』、1991年1月19日夕刊〔分類⑰〕
- ・「ペルシャ湾汚染「海の娘たち」は今…」『中日新聞』、1991年2月20日夕刊〔分類⑧⑰〕
- ・「名誉をとるか実利をとるか」『国際協力』、第430号、1991年2月、30～31頁、〔分類⑤⑥⑭〕
- ・「書評 片倉とも子著『イスラームの日常生活』」『文化会議』、第263号、1991年5月、30～33頁、〔分類⑰〕
- ・「ラクダのミルクと乳房 (1)」『日本サウディアラビア協会報』、154号、1991年5月、8～10頁、〔分類⑱〕
- ・「ラクダのミルクと乳房 (2)」『日本サウディアラビア協会報』、156号、1991年9月、8～10頁、〔分類⑱〕
- ・「世界の言語 70+1 アラビア語」『月刊言語』、第20巻5号、1991年5月、28～29頁〔分類④⑤〕
- ・「ここにこの人 アラビスト・ラクダの文化誌」の著者『陽台』、第2号、1991年6月、30～33頁、(インタヴュー)、〔分類⑰〕
- ・「ラクダのワダク(油脂)」『東亜』、No. 288、霞山会、1991年6月、4～5頁、〔分類⑱〕
- ・「黄金の遺宝展によせて」『中日新聞』(夕刊)、1991年7月19日〔分類⑦⑬〕
- ・「新たな触れ合いを！」『プチZoo』、創刊号、1991年7月、3頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「愛宕山山頂から」『我が人生論、山梨編』、東京書籍、1991年12月、119～21頁、〔分類⑰〕
- ・「アラバスター(雪花石膏)のこと」『月刊健康』375号、1991年12月、36～39頁、〔分類⑦〕

1992年

- ・「ラクダのミルクと乳房 (3)」『日本サウディアラビア協会報』、158号、1992年3月、21～25頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブの歌「おお木登りよ！」」『月刊健康』、379号、1992年3月、36～39頁、〔分類③〕
- ・「アラブ世界のラクダ乳文化」『乳利用の民族誌』、中央法規、1992年3月、57～84頁、〔分類⑱〕
- ・「一口分の食習慣——アラブ世界の食文化」『VESTA』(味の素食の文化センター)、第11号、1992年4月、11～21頁、〔分類⑫〕
- ・「サフランラクダ」『陽台』、第7号、1992年6月、24頁、〔分類⑭⑱〕
- ・「ラクダの搾乳異聞」『月刊健康』、383号、1992年6月、36～39頁、〔分類⑫⑱〕
- ・「ラクダ達が支えたアラビアの人々の暮らし」『世界の歴史2、中東アフリカ』、河出書房新社、1992年7月、80～83頁、〔分類⑫〕
- ・「アラビアは暑いのに、なぜ長い衣装をきるのか」『世界の歴史2、中東アフリカ』、河出書房新社、1992年7月、84～86、〔分類⑫⑰〕

- ・「イスラームの死生観」『シジホスの会報』、第26号、1992年7月、1~4頁、〔分類⑥〕
- ・「テントで、野宿で、頼りになる外套」『季刊民族学』、61号、1992年7月、48頁、〔分類⑫〕
- ・「タカの鳥師」『プチ Zoo』、第3号、1992年9月、1頁、〔分類⑪〕
- ・「アラブの鷹匠 首長国のハミース氏」『月刊健康』、387号、1992年9月、36~39頁、〔分類⑪〕
- ・「イスラームと食」『食の思想』、ドメス出版、1992年10月、101~118、131~160頁、〔分類⑫〕
- ・「アラブの鷹匠文化——アラブ首長国」『図書』、521号、1992年11月、12~18頁、〔分類⑪〕
- ・「イスラームの敬けんさとは——中世人の生きざま」『月刊健康』、391号、1992年12月、36~39頁、〔分類⑥〕
- ・「都市と大型家畜——多面的考察」『イスラームの都市性』、亜紀書房、440~444頁、〔分類⑧⑰〕

1993年

- ・「ラクダの屠殺・解体・肉利用 (1)」『日本サウディアラビア協会報』、163号、1993年1月、16~19頁、〔分類⑱〕
- ・「オフラ・ハザ イエメン系イスラエルの美人歌手」『月刊健康』、379号、1993年3月、36~39頁、〔分類③〕
- ・「ラクダの屠殺・解体・肉利用 (2)」『日本サウディアラビア協会報』、165号、1993年5月、6~10頁、〔分類⑱〕
- ・「美健麵食」『麵サイクロペディア』、日清食品、1993年6月、23頁、〔分類⑫〕
- ・「アラビア語」『世界のことば小事典』、大修館書店、1993年6月、34~37頁、〔分類⑤〕
- ・「アラブの食言葉」『Vesta』、第16号、1993年7月、43~48頁、〔分類⑤⑫〕
- ・「ラクダレースにアラブ民族の心(土曜招待席・人と自然を語る①)」『中日新聞』、1993年9月18日、〔分類⑱〕
- ・「ズー・ヌーン (デザート・ヒヤシンス)、枯れ川に咲く燃える黄色 (土曜招待席・人と自然を語る②)」『中日新聞』、1993年9月25日〔分類⑨〕
- ・「タカの執念はアラブと合致(土曜招待席・人と自然を語る③)」『中日新聞』、1993年10月2日、〔分類⑪〕
- ・「タルスース(赤い親指)民の健康守る砂漠の贈り物(土曜招待席・人と自然を語る④)」『中日新聞』、1993年10月9日〔分類⑨〕
- ・「優雅なガゼル 詩人が愛した砂漠の美女 (土曜招待席・人と自然を語る⑤)」『中日新聞』、1993年10月23日、〔分類⑧〕
- ・「コロシント(苦瓜) 砂漠の慈雨に生き急ぐウリ (土曜招待席・人と自然を語る⑥)」『中日新聞』、1993年10月30日、〔分類⑨〕
- ・「クーヒーヤ鷹 赤目が妖艶なカタグロトビ (土曜招待席・人と自然を語る⑦)」『中日新聞』、1993年11月6日、〔分類⑪〕
- ・「大樹シカモワ イチジク桑は砂漠の涼葉 (土曜招待席・人と自然を語る⑧)」『中日新聞』、1993年11月13日、〔分類⑨〕
- ・「ラクダが作ったアラブ文化」『朝日百科・動物たちの地球』、122号、1993年10月、62~64頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブ民族のリズム」『月刊言語』、第22巻11号、1993年11月、30~38頁、〔分類③⑱〕
- ・「ラクダの屠殺・解体・肉利用 (3)」『日本サウディアラビア協会報』、168号、1993年11月、8~12頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブ詩の律格型ラジャズについて」『詩的ディスクール』、安藤元雄 編、白鳳社、141~172頁、〔分類②③⑤⑱〕

1994年

- ・「ベドウィン(アラブ遊牧民)のコーヒーのもてなし」『国際研究』、第10号、中部大学、1994年1月、238～240頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「鷹匠文化」『季刊民族学』、75号、1994年1月、102～107頁、〔分類⑪〕
- ・「カメルーン自然保護区にて」『プチ Zoo』、第6号、1994年3月、3頁、〔分類⑧⑱〕
- ・「アラビア語」『第二外国語をモノにするためのカタログ』、アルク出版、1994年4月、〔分類⑤〕
- ・「狩猟の獲物とイスラムの食規定①」『VESTA』、19号、味の素の文化センター、1994年5月、24～32頁、〔分類⑧〕
- ・「アラブの麺」『文化麺類学』、フーディアム、1994年5月、59～66頁、〔分類⑥⑭〕
- ・「狩猟・農牧文化のアラブ世界の地平」『中東研究』、第393号、1994年8月、33～39頁、〔分類⑧〕
- ・「Hijun(競争ラクダ)のスピード」『中東協力センターニュース』、第19号5号、1994年8月、25～29頁、〔分類⑱〕
- ・「名著紹介：リッチコールドー著『砂漠と闘う人々』(岩波新書)」『プチ Zoo』、第7号、1994年9月、3頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「狩猟の獲物とイスラムの食規定②」『VESTA』、20号、1994年9月、58～66頁、〔分類⑧〕
- ・「アラブの邪視・インタビュー」『AERA』、第38号、1994年9月19日、45頁、〔分類⑥⑭〕
- ・「アラブ料理」『歴史学事典』(第2巻)、弘文堂、1994年10月、13頁、〔分類⑫〕
- ・「葦笛とザンマル」『Morning Calm』、第18巻5号、1994年11月、74～77頁、〔分類③〕
- ・「ナツメ椰子が食べられます!!」『陽台』、第15号、17頁、〔分類⑨〕

1995年

- ・「Baaziiを謳う—アラブ狩猟詩断章」『国際研究』、第11号、中部大学、1995年1月、57～71頁、〔分類⑪〕
- ・「ミルク煮の米料理 米の食べ方の世界誌」『国際研究』、第11号、中部大学、1995年1月、215～217頁、〔分類⑫〕
- ・「母の展望台」『旺文社ゼミ High Perfect』、第10巻15号、旺文社、1995年2月、1頁、〔分類⑯〕
- ・「四十キロレース」『プチ Zoo』、第9号、1995年3月、3頁、〔分類⑩〕
- ・「アラブのことわざ」『世界ことわざ大事典』、大修館書店、1995年6月、805～818頁、〔分類④〕
- ・「アラブの古典のことわざ」『世界ことわざ大事典』、大修館書店、1995年6月、1130～1146頁、〔分類④〕
- ・「雨」『歴史学事典』(第3巻)、弘文堂、1995年7月、18頁、〔分類⑦〕
- ・「犬」『歴史学事典』(第3巻)、弘文堂、1995年7月、52頁、〔分類⑧〕
- ・「護符」『歴史学事典』(第3巻)、弘文堂、1995年7月、305頁、〔分類⑥⑭〕
- ・「猫」『歴史学事典』(第3巻)、弘文堂、1995年7月、543頁、〔分類⑧〕
- ・「ラクダ」『歴史学事典』(第3巻)、弘文堂、1995年7月、764頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブ・イスラムの諺」『成語大辞苑』、主婦と生活社、1995年9月、〔分類④〕
- ・「10世紀アラブの『歌の書』」『Aghama』、133号 Winter号、11～13頁、〔分類③〕

1996年

- ・書評「食はイスタンブールにあり」『VESTA』、24号、1996年1月、41頁、〔分類⑫〕
- ・「タカ匠文化」『季刊民族学』、75号新春号、102～107頁、〔分類⑪〕
- ・「アラブの数とかぞえ方 数と数え方の世界誌」『国際研究』、第12号、中部大学、1996年1月、118～120頁、〔分類④⑭〕

- ・「アラブのタカ・タカ匠 (1)」『ニホンクウェイト協会報』、第183号、1996年2月、12～14頁、〔分類⑪〕
- ・「ドバイ競馬」『経済往来』、第1032号、1996年3月、37～39頁、〔分類⑩⑱〕
- ・「アラブ馬ビューティーコンテスト」『陽台』、第22号、1996年3月、10頁、〔分類⑩〕
- ・「タカ ツルを狩る——中世アラブの鷹狩の詩より」『国際研究』、16号、中部大学、1996年3月、102～107頁、〔分類⑪〕
- ・「おはようトーク アラブの鷹狩りを研究」『中日新聞』、1996年6月13日、(インタビュー)、〔分類⑪⑯〕
- ・「UAE(アブダビ及びドバイ)のラクダレース場」『日本アラブ首長国連邦協会報』、22号、1996年7月、13～18頁、〔分類⑱〕
- ・「書評 川崎寅雄『シルクロードのアラブ人』」『公明新聞』、1996年7月1日、〔分類⑭⑯〕
- ・「アラブのタカ・タカ匠 (2)」『ニホンクウェイト協会報』、第186号、1996年8月、8～10頁、〔分類⑪〕
- ・「ベドウィンのコーヒーのもてなし」『思い出のカフェ2 ドゥマゴからの贈り物』、Bunkamura、1996年9月、100～103頁、〔分類⑨⑫⑭⑰〕
- ・「ラクダの置物」『目の眼』、第241号、1996年10月、86～87頁、〔分類⑬⑱〕
- ・「アラブのタカ・タカ匠 (3)」『ニホンクウェイト協会報』、第187号、1996年10月、17～19頁、〔分類⑪〕
- ・「瘤を制するものがラクダを制する」『季刊民族学』、No. 78 秋号、62～63頁、〔分類⑱〕
- ・「駝名考——Hijun(競争ラクダ)の貴種名を中心に」『上智アジア学』、14号、1996年12月、5～13頁、〔分類⑤⑱〕

1997年

- ・「アラビア語」『世界のことばをモノにするためのカタログ』、アルク地球人ムック、1997年2月、〔分類⑤〕
- ・「アラブのタカ・タカ匠 (4)」『ニホンクウェイト協会報』、第189号、1997年2月、21～22頁、〔分類⑪〕
- ・「アラブの麵とくらし」『文化愛媛』、第39号10月号、1997年10月、74頁、〔分類⑫〕

1998年

- ・「97年度の「中東・イスラーム文化」出版物」『翻訳の世界』、3月号、1998年3月、45頁、〔分類⑯〕
- ・「鷹の絵馬」『月刊健康』、473号、1998年3月、8～9頁、〔分類⑪〕
- ・「タカ狩りの世界」『アジア読本 アラブ』、河出書房新社、1998年4月、77～81頁〔分類⑪〕
- ・「最も文語と口語の違いが大きな言語 エジプトアラビア語」『月刊言語』、第27巻5号、1998年5月、77～81頁、〔分類⑤〕
- ・「厳格主義と自由との間で(「炎のアンダルシア」映画評)」『中日新聞(夕刊)』、1998年6月18日、〔分類⑭⑯〕
- ・「ラクダの証言」『日本クウェイト協会報』、第197号、1998年6月、8～10頁、〔分類⑱〕
- ・「サウディアラビアの遊戯」『民族遊戯大事典』、大修館書店、1998年7月、281～285頁、〔分類⑰〕
- ・「イスラーム教と食事」『食の文化 人類の食文化』、農山漁村文化協会、1998年10月、230～250頁、〔分類⑫〕
- ・「鷹の鳥・鷹匠と食文化(上)」『VESTA』、第32号、1998年11月、66～74頁、〔分類⑧⑪⑬⑰〕
- ・「オアシスから覗くアラブ世界」『国際協力』、524号、1998年12月、16～17頁、〔分類⑯〕

1999年

- ・「乳と肉の同時食 ユダヤ教の食タブー」『VESTA』、第33号、1999年2月、46頁、〔分類⑥⑫〕

- ・「鷹の鳥・鷹匠と食文化 (中)」『VESTA』、第 33 号、1999 年 2 月、68～73 頁、〔分類⑧⑪⑬⑰〕
- ・「鷹の鳥・鷹匠と食文化 (下)」『VESTA』、第 38 号、1999 年 11 月、66～71 頁、〔分類⑧⑪⑬⑰〕
- ・「病弱ながら子煩悩であった父」『わが父・母・故郷 甲信越編』、文教図書出版、1999 年 11 月、105～107 頁、〔分類⑯〕
- ・「牧畜民の飢餓感」『飢餓』、ドメス出版、1999 年 11 月、98～121 頁、〔分類⑰〕
- ・「イスラムの感性——宗教家・宗教歌手」『現代思想』、第 17 卷 14 号、1999 年 12 月、176～180 頁、〔分類③⑥〕

2001 年

- ・「キリスト教聖人とラクダ」『月刊健康』、No. 518、2001 年 2 月、60～62 頁、〔分類⑥⑱〕
- ・「鷹匠」『歴史学事典』(第 8 卷)、弘文堂、2001 年 2 月、412 頁、〔分類⑪〕
- ・「羊飼い」『歴史学事典』(第 8 卷)、弘文堂、2001 年 2 月、543 頁、〔分類⑧⑰〕
- ・「門番」『歴史学事典』(第 8 卷)、弘文堂、2001 年 2 月、625 頁、〔分類⑭〕
- ・「ラクダ飼い」『歴史学事典』(第 8 卷)、弘文堂、2001 年 2 月、649 頁、〔分類⑱〕
- ・「ウマ」『角川世界史事典』、角川書店、2001 年 10 月、122 頁、〔分類⑩〕
- ・「馬具」『角川世界史事典』、角川書店、2001 年 10 月、724 頁、〔分類⑩〕
- ・「ラクダ」『角川世界史事典』、角川書店、2001 年 10 月、983 頁、〔分類⑱〕
- ・「羊」『角川世界史事典』、角川書店、2001 年 10 月、771 頁、〔分類⑧〕

2002 年

- ・「売春」『歴史学事典』(第 9 卷)、弘文堂、2002 年 2 月、472 頁、〔分類⑭〕
- ・「キラア」、「タジュウィード」、「タルティール」、「乳香」、「香料」、「アッターール」、「薬」、「本草学」、「高慢」、「人名」、「動物」、「狩猟」、「ラクダ」、「馬」、「ロバ」、「ラバ」、「犬」、「猫」、「魚」、「鷹」、「鷲」他『岩波イスラーム辞典』、岩波書店、2002 年 2 月
- ・「ラクダのディフカ(蹄蹟)」『月刊健康』、No. 538、2002 年 3 月、50～51 頁、〔分類⑱〕
- ・「アラブの基層文化とイスラーム：「イスラームが拒んだもの—血、死肉、豚肉の食利用の問題」」『イスラーム世界』、第 58 号、2002 年 3 月、〔分類⑥⑰〕
- ・「賭け」、「もてなし」、「夜の旅」、「家畜」、「ヤギ(羊)」、「ロバ」、「水タバコ」他『イスラーム世界事典』、明石書店、2002 年 3 月
- ・「預言者時代のコーラン読みたち——第一層 Qurra' (コーラン読誦者) を中心に」『国際関係学部紀要』、第 28 号、2002 年 3 月、71～92 頁、〔分類④⑥〕
- ・「2001 年翻訳書ベストテン、中東イスラーム文化」『月刊 e トランス』、第 26 卷第 4 号、2002 年 4 月、〔分類⑯〕
- ・「イスラームが始めたお香・竜涎香」『別冊「環」④』、2002 年 5 月、270～273 頁、〔分類⑥〕
- ・「アラブ・イスラーム世界」『地域研究入門』、古今書房、2002 年 5 月、119～128 頁、〔分類⑯〕
- ・「諏訪藩に伝わる「鷹書」の翻刻と注解—「鷹書」大—(七)」『国際関係学部紀要』、第 29 号、2002 年 10 月、〔分類⑪〕

2003 年

- ・「On Waqf wa Ibtidā' (Stop and Restart) of Tartīl (The Koranic Recitation)」『国際研究』、第 19 号、2003 年 2 月、1～52 頁、〔分類⑥〕
- ・「いとこ婚」『歴史学事典』(第 10 卷)、弘文堂、2003 年 2 月、34 頁、〔分類⑭〕
- ・「ターバン」『歴史学事典』(第 10 卷)、弘文堂、2003 年 2 月、419 頁、〔分類⑭⑰〕

- ・「系統樹」『歴史学事典』(第10巻)、弘文堂、2003年2月、179頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「食の名言、名句あれこれ」『VESTA』、No. 49、2003年2月、38～43頁、(座談会)、〔分類④⑤⑫〕
- ・「『イラクのナツメ椰子』についてのコメント」『週刊文春』、3月6日号、2003年2月、〔分類⑨⑯〕
- ・「2002年翻訳書ベストテン、中東イスラム文化」『月刊eトランス』、第28巻4号、2003年3月、〔分類⑯〕
- ・「滅びたアラブ・アード族伝承(1)」『国際関係学部紀要』、第30号、2003年3月、65～86頁、〔分類④⑰〕
- ・「諏訪藩に伝わる「鷹書」の翻刻と注解―「鷹書」大―(八)」『国際関係学部紀要』、第31号、2003年10月、〔分類⑰〕

2004年

- ・「帽子」『歴史学事典』(第11巻)、弘文堂、2004年2月、587頁、〔分類⑭⑰〕
- ・「滅びたアラブ・アード族伝承(2)―預言者フードの活動及びアード族の滅亡―」『国際関係学部紀要』、第32号、2004年3月、1～30頁、〔分類④⑰〕
- ・「2003年翻訳書ベストテン、中東イスラム文化」『月刊eトランス』、第29巻5号、2004年3月、〔分類⑯〕
- ・「ソコトラ島の「麒麟血1」」『潤』機関紙、第14巻7号、2004年7月、2～6頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「ソコトラ島の「麒麟血2」」『潤』機関紙、第14巻8号、2004年8月、8～12頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「ソコトラ島の「麒麟血3」」『潤』機関紙、第14巻9号、2004年9月、16～21頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「ソコトラ島の「麒麟血4」」『潤』機関紙、第14巻10号、2004年10月、3～6頁、〔分類⑨⑰〕
- ・「諏訪藩に伝わる「鷹書」の翻刻と注解―「鷹書」大―(九)」『国際関係学部紀要』、第33号、2004年10月、〔分類⑰〕

2005年

- ・「滅びたアラブ・アード族伝承(3)―長命者ルクマーンのこと」『国際関係学部紀要』、第34号、2005年3月、1～23頁、〔分類④⑰〕
- ・「食文化との出会い―アラブ・イスラム世界の意外な「食」の領域」『VESTA』、No. 58、2005年5月、〔分類⑫〕
- ・「諏訪藩に伝わる「鷹書」の翻刻と注解―「鷹書」大―(十)」『国際関係学部紀要』、第35号、2005年10月、〔分類⑰〕
- ・「預言者マホメットとアラビア馬(1)」『アジル』、第11号、2005年10月、17～19頁、〔分類⑩〕

2006年

- ・「アラビア語回文芸術の世界―中世アラブの文学アル・ハリリー作『マカーマート』の二作品を通して」『貿易風』、創刊号、2006年3月、300～327頁、〔分類⑤〕
- ・「預言者マホメットとアラビア馬(2)」『アジル』、第12号、2006年6月、17～19頁、〔分類⑩〕
- ・「預言者マホメットとアラビア馬(3)」『アジル』、第13号、2006年12月、17～19頁、〔分類⑩〕
- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴(1) 結婚披露宴に招かれ、その席でのこと」『VESTA』、No. 64、2006年11月、38～43頁、〔分類⑫〕

2007年

- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴(2) 饗宴の招待、婚宴」『VESTA』、No. 65、2007年2月、63～65頁、〔分類⑫〕
- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴(3) デザートとカタール(前編)」『VESTA』、No. 66、2007年5月、

56～61 頁、〔分類⑫〕

- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴 (4) デザートとカタールイフ (後編)」『VESTA』、No. 67、2007 年 7 月、62～67 頁、〔分類⑫〕
- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴 (5) 出産祝いと初剃髪の祝い」『VESTA』、No. 68、2007 年 11 月、66～71 頁、〔分類⑫〕
- ・「イスラムの犠牲祭と供儀獣」『狩猟と供儀の文化誌』、中村生雄・三浦佑之・赤坂憲雄 編、2007 年 5 月、325～357 頁、〔分類⑥⑧⑫⑰〕
- ・「香料」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、191 頁、〔分類⑨⑫⑭〕
- ・「タカ」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、363 頁、〔分類⑪〕
- ・「乳香」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、470 頁、〔分類⑨〕
- ・「ハト」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、503 頁、〔分類⑧〕
- ・「ラクダ」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、606 頁、〔分類⑬〕
- ・「ロバ」『歴史学事典』(第 14 卷)、弘文堂、2007 年 6 月、626 頁、〔分類⑧〕
- ・「預言者マホメットとアラビア馬 (4)」『アジル』、第 14 号、2007 年 6 月、7～9 頁、〔分類⑩〕
- ・「アラブ馬の起源 (1) 馬の創造—人類の祖アダムと馬」『アジル第』、15 号、2007 年 12 月、12～15 頁、〔分類⑩〕

2008 年

- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴 (6) 割礼の祝宴とコーラン暗唱の祝宴」『VESTA』、No. 69、2008 年 2 月、61～65 頁、〔分類⑫〕
- ・編著『鷹の書』、鷹書研究会、2008 年 3 月、〔分類⑪〕
- ・「イスラムの天国に入れるのは人間とラクダのみ!？」『大法輪』、75 卷 3 号、2008 年 3 月、43～44 頁、〔分類⑥〕
- ・「亡びたアラブ・アード族伝承 (4) —シャッタード負うと円柱立ち並ぶ都イラムについて」『貿易風』、第 3 号、2008 年 4 月、138～155 頁、〔分類⑥⑰〕
- ・「諏訪藩に残る鷹書—「赤生物数覚帳」及び「飛騨西腕巢鶴物数帳」について」『貿易風』、第 3 号、2008 年 4 月、355～395 頁、〔分類⑪〕
- ・「アラブ・イスラム世界の饗宴 (7) 婚約・結婚式と葬式」『VESTA』、No. 70、2008 年 5 月、〔分類⑥⑫〕
- ・「アラブ馬誕生伝説 (2) —風より生まれたもの」『アジル』、第 16 号、2008 年 6 月、12～15 頁、〔分類⑩〕
- ・ハリリー著『マカーマート 1』、東洋文庫 780、平凡社、2008 年 11 月、(訳書)、〔分類②〕

2009 年

- ・ハリリー著『マカーマート 2』、東洋文庫 782、平凡社、2009 年 1 月、(訳書)、〔分類②〕
- ・「アラビア語・ヌクタの芸術 (2) —アル・ハリリー作『マカーマート』第 6 及び第 26 マカーマに見られる axyaaf (金目銀目文) 技法、raqTaa' (斑入り文) 技法の分析」『貿易風』、第 4 号、2009 年 3 月、114～139 頁、〔分類⑤〕
- ・「アラビア語文字ター・マルブータの問題」『アリーナ』、第 6 号、2009 年 3 月、203～228 頁、〔分類⑤〕
- ・ハリリー著『マカーマート 3』、東洋文庫 785、平凡社、2009 年 4 月、(訳書)、〔分類②〕
- ・「アラブ馬の起源 (3) アラビア馬とソロモン伝説」『アジル』、第 19 号、2009 年 12 月、12～14 頁、〔分類⑩〕

2010年

- ・「絵から読み解く中世アラブ教育の授業風景」『アリーナ』、第8号、2010年3月、131～164頁、〔分類⑭〕
- ・「トウガラシはピクルスとハリーサで」『トウガラシ讃歌』、八坂書房、2010年4月、89～99頁、〔分類⑨〕
- ・「回転ラクダ」『貿易風』、第4号、2010年4月、110～119頁、〔分類⑱〕
- ・「星と動物 獣帯黄道12宮の牡羊・雄牛・双子——アラブ・イスラム世界のフォークロア」『アリーナ』、第10号、2010年12月、261～327頁、〔分類⑧⑮⑰〕

2011年

- ・「中世アラブのタルディッヤ（狩猟詩）——アブー・ヌワースの狩猟詩および「鷹狩り」の二詩篇」『貿易風』、第6号、2011年4月、142～164頁、〔分類②③⑪〕
- ・「星と動物 (2) 獣帯黄道12宮の蟹・獅子・乙女——アラブ・イスラム世界のフォークロア」『アリーナ』、第12号、2011年11月、217～299頁、〔分類⑧⑮⑰〕

2012年

- ・「アル・ハマザーニー著『マカーマート』(1)」『イスラーム世界研究』、第5巻1-2号、216～298頁、〔分類②〕
- ・「アラブ動物民俗学 星と動物 天地の蛇及び竜について」『貿易風』、第7号、2012年4月、242～304頁、〔分類⑧⑮⑰〕
- ・「星と動物 (3) 獣帯黄道12宮の天秤・蠍・射手——アラブ・イスラム世界のフォークロア」『アリーナ』、第14号、2012年12月、261～327頁、〔分類⑧⑮⑰〕

2013年

- ・「アル・ハマザーニー著『マカーマート』(2)」『イスラーム世界研究』、第6巻、2013年3月、305～427頁、〔分類②〕
- ・「付説:『マカーマート』の文体サジュウについて」『イスラーム世界研究』、第6巻、428～466頁、〔分類②〕
- ・「星と動物 (4) 獣帯黄道12宮のヤギ・水瓶・魚——アラブ・イスラム世界のフォークロア」『アリーナ』、第15号、2013年5月、282～376頁、〔分類⑧⑮⑰〕
- ・「アラブ遊牧民のカレンダー、星の歳時記」『アリーナ』、第16号、2013年12月、460～525頁、〔分類⑥⑦⑭⑮⑰〕